

河原崎次郎
武正忠明
脇田康弘

平田朝音
若井なおみ
小澤英恵
齊藤奈々江
森根三和

中村たつ
岩崎加根子
川口敦子

「わたし達の毎日からは
一度も八月九日が消えたことがなかとよ」

櫛の木坂 四姉妹

三女優初の姉妹役で
至芸なる魂の競演

作=堀江安夫

演出=袋 正

〈美術〉内山 勉
〈照明〉森脇清治
〈効果〉田村 恵
〈衣裳〉若生 昌
〈方言指導協力〉長崎市民劇場
〈舞台監督〉関 裕麻
〈制作〉山崎菊雄

2014年 旭川市民劇場 4月例会

会場=旭川市公会堂

4月21日(月) 6:30

4月22日(火) 6:30

4月23日(水) 1:30

会員募集中!

会員になると年6回の演劇を鑑賞できます。

●入会金	2,000円
●会費(月)	一般: 2,500円
	大学生: 1,000円
	高校生以下: 500円

◇詳しくは旭川市民劇場まで◇
TEL: 23-1655
住所: 旭川市3条通8丁目緑橋ビル1号館2F



榎の木坂 四姉妹

作 堀江安夫

演出 袋正



中村たつ



岩崎加根子



川口敦子



平田朝音



若井なおみ



小澤英恵



齊藤奈々江



森根三和



河原崎次郎



武正忠明



脇田康弘

《美術》内山 勉
《照明》森脇清治
《効果》田村 恵
《衣裳》若生 昌

《方言指導協力》長崎市民劇場
《舞台監督》関 裕麻
《制作》山崎菊雄

死者が現在を生きる者の支えになる、ということが往々にしてある。遠り方は土地や風習で様々に違えど、どの民族もが先人の霊に敬虔な祈りの場を持つているのは、遙か昔からそのことを承知して来たからだろう。

この作品は長崎のひとつ屋根に身を寄せ合って生きる老三姉妹の物語だ。しかし敢えて「四姉妹」としたのは、原爆で命を奪われた三女が、ある時は彼女等の行動を縛ったり、またある時は励まし慰めたりと、今尚くつきりと共に生きているからに他ならない。

堀江安夫

その坂道は榎の木坂と呼ぶ。長崎港を望む坂の中腹に樹齢数百年を超える榎の老木があるからだ。人々はその威風をたたえ、神木として保存してきた。だがその老木も一九四五年八月九日の原爆投下で息絶えてしまったと思われたが、翌年の春、一枚の葉を芽吹かせた。今では道端からこの物語の舞台になる葦葉家の庭先までみごとな葉群を広げていた。

二〇〇〇年、長崎は夏を迎えようとしていた。被爆者である三姉妹の生活を撮り続けてきたカメラマンの洲崎はその日、部屋のピアノについて尋ねる。

それは四女が双子の姉三女の供養のために購入したものだ。あれから五十五年、ピアノの調べは若かりし四姉妹が暮らしていた頃へ誘っていく。

新劇を代表する中村たつ、岩崎加根子、川口敦子が競演する堀江安夫渾身の書き下ろしを、長崎に魅かれ続けてきた袋正が演出する。河原崎次郎、武正忠明等が加わり豪華な出演者が織り成す俳優座ならではのアンサンブルにご期待ください。